

第12期青葉区民会議
健康・福祉・教育部会
中山 恒夫 様

平成30年11月22日に文書でご要望いただいた件について、次のとおりお答えします。

平成31年度横浜市予算に対する要望・提案

青葉区民会議 福祉・保健・教育部会

【意見・要望】

横浜市立の全中学校に学校給食の導入を要望します。

【回答】

本市の中学校昼食は、ご家庭のライフスタイルや日々の都合に合わせて、ハマ弁、家庭弁当、業者弁当から等しく選べる選択制の充実に取り組んでいます。給食実施には、施設整備費に多くの費用がかかるだけでなく、給食室や給食センターの設置に必要な用地がないこと、全校実施まで長い期間を要することから、給食を実施することは難しいと考え、栄養バランスのとれたハマ弁を導入しています。

ご指摘のあった「近隣の小学校の給食設備を活用する」事例として挙げられた金沢区の西金沢学園ですが、市内唯一の施設一体型の義務教育学校で、整備にあたって地元から小学部の給食室で中学部の昼食を提供することを強く求められました。施設一体型なので、衛生的に調理、運搬することが可能であることから、小学校の給食室を活用した昼食提供を例外的に試行実施しているものです。

また、平成26年当時の試算では、中学校の喫食率を5割と想定した場合、3分の2の学校で可能と想定しましたが、全員喫食とした場合、4分の3の学校で実施ができないと考えています。学校ごとにできるところから給食を実施すると、公平性に欠けるため、選択制の中で中学校の昼食を充実していくこととしています。

なお、ハマ弁は、横浜市と事業者とで、平成28年度から5年間の協定を締結しており、平成32年度で終了します。平成33年度以降については、選択制の良さを活かしながら、様々な課題や意見等を踏まえ、より使いやすいハマ弁となるよう検討を行ってまいります。

今後も中学校昼食の充実に向けて、生徒や保護者の皆様をはじめ多くの方々のご意見を踏まえながら、ハマ弁の利便性の向上に努めていきたいと考えています。

平成31年3月26日

横浜市 教育委員会事務局 健康教育課担当課長 片山 哲夫

(健康教育課 電話：045-671-3277 FAX：045-681-1456)

(広聴 第30-900026号)